

「もえる節目」の教育活動

☆ 令和6年度 磐田西小の育てたい資質・能力

○ 問題解決力 ○ 批判的思考力 ○ 伝える力 ○ 協働する力

1 期間 6月4日（火）～7月23日（火）

2 キーワード

○ 進む・つなげる



「めぶく節目」が終わり、6月4日（火）から、「もえる節目」に入ります。「めぶく節目」では、それぞれの学級が「目指したい学級の姿」や「目指したい授業」について話し合いをし、イメージを共有してきました。「めぶく節目」を終え、「何ができるようになったのか」「自分たちの課題は何なのか」を振り返り、子どもたちと共有しながら、次の「もえる節目」につなげていきます。

運動会も終わり、日々の授業をより一層充実させ、目指す姿に向け、一步一步着実に進んでいけるよう、力を合わせて教育活動を進めていきます。

3 学年の取組み ～第5学年～

(1) めぶく節目の子どもたちの様子

- 日課を意識し、授業の始まりと終わりの時刻を守って生活することができました。また、「目と耳と心で聴こう」を合言葉に取り組んできたところ、相手が何を伝えようとしているのか考えながらじっくりと聴くことができる子が増えてきました。もえる節目では、さらに、自分の考えを進んで伝え、学習を深められるようにしていきます。

(2) もえる節目の目標

重点目標 「多様性を認め合い、学び合う授業づくり」

学びづくり		部	心づくり	
協働的な学びを通して自らの学びを実感する子		育てたい子	しなやかな心を持ち夢中になって取り組む子	
話す・聞く・書く	協働する力	節目の目標	生活	協働する力
自分の考えをもち、進んで発表する。	相手に分かりやすく、自分の考えを説明する。		時や相手、場に応じた言葉遣いをする。	自分や友達の良いところを見つけ、周りに広げる。

(3) 指導のポイント

- 授業の中では、一人学びの時間を確保したり、友達と考えを交流したりする機会を多くすることで、自信をもって発言できるようにします。
- 友達の発言に真剣に耳を傾け、間違いを決して笑わない温かな学年を目指します。
- 相手に言われてうれしい言葉や正しい言葉遣いについて学級で話し合い、声を掛け合いながら生活できるようにします。
- 帰りの会で友達のよいところを見付ける時間を設け、互いに伝え合うようにします。